

まつもとし こ けんり 松本市 子どもの権利ニュース

発行 松本市役所 こども部 こども育成課

まつもとしは、みなさんが、まいにちをいきいきと過ごし、自分らしくのびのびと育っていけるよう、「松本市子どもの権利に関する条例」をつくって、「子どもにやさしいまちづくり」を進めています。

子どもたちが社会の一員として、自分の考えや意見を言ったり、参加したりするために、「まつもと子ども未来委員会」がつけられました。今回は、これまでの「第2期まつもと子ども未来委員会」の活動をお知らせします。

だい き 第2期 まつもと子ども未来委員会



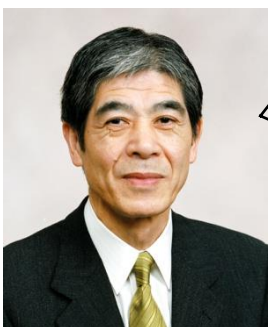
まつもと子ども未来委員会では、子どもたちが、学校・地域・年代を越えて、まちの課題について学び、解決するための話し合いなどを行っています。

第2期は、小学5年生から高校3年生の委員35人で、平成28年3月から平成29年2月まで活動しています。8月17日には、これまでに学習した松本のまちづくりについて、市長をはじめとする松本市役所の人たちに提案をしました。



◇ 提案の内容 (一部)

- まちのくらしや安全について
 - … 雪が降ったらすぐ対応して、道が滑らないようにしてほしい
 - … 防災訓練の回数を増やしてほしい
- 松本のPRについて
 - … 松本市のポスターを子どもたちでつくって、電車の中吊りに貼ってほしい
 - … 若い人や子どもの意見をとり入れた、松本で使えるマップやクーポン雑誌をつくってほしい
- まちをきれいにすることについて (松本の環境について)
 - … ゴミの分別のことを回覧板で説明してほしい
 - … ポイ捨てを減らすために、ゴミ箱を増やしてほしい



= 市長から =

まちづくりのことを人から言われて考えるのではなく、みんなが「自分から」考えてくれてうれしく思います。まちづくりは、市役所だけでやるのは限界があるので、みんなで取り組むことが大切です。

松本は「良いまち」だと言われています。なので、今回提案してくれたように、悪いところを減らして、良いところをのばすと、もっと「良いまち」になると思います。

まつもと子ども未来委員会の子どもたち10人が、8月6日から8月9日までの間、北海道の札幌市を訪問しました。松本市と同じように「子どもの権利」について条例で約束している、札幌市の子どもたち10人や奈井江町の子どもたち16人と交流して、札幌市のことを学びながら、将来の松本のことを考えました。

◇ 交流事業の内容

- 札幌市内（北海道博物館、旧北海道庁、大倉山ジャンプ台など）の見学
- PMF オーケストラ鑑賞
- 2017冬季アジア札幌大会にむけた、スタジアム見学や「おもてなし」に関する札幌市豊平区長への提言



▼28.08.04 札幌出発前に、松本市長と。

▲28.08.08 松本市・札幌市・奈井江町のみんな



= 参加者の感想 = (一部)

- 4日間の交流事業で、初めて聞いたり、初めて見たり、初めて体験したりなど、たくさん初めてのことがありました。でも、しっかりと学ぶこともできたので、これからの松本に活かしていきたいと思いました。
- 最初は不安でしたが、交流会に参加してよかったと思いました。友達ができたり、札幌のことをたくさん学べて、勉強になりました。
- 北海道の人たちに、松本の方言や習慣の話をするのも盛り上がって楽しかった。
- 初めて、その日に出会って、友達になれて、こんなに幸せなことはないと思います。

松本市子どもの権利相談室「こころの鈴」

こまっている時、うれしい時、なんとなくだれかと話したい時、あなたの声をきかせてね

- 電話 0120-200-195 (無料)
- メール kodomo-s@city.matsumoto.nagano.jp
- 時間 月～木・土曜日 午後1時から6時
金曜日 午後1時から8時
- 場所 松本市役所大手事務所2階 (松本市大手3-8-13)